

＜第2790地区鶴沢ガバナーより表彰される 豊島会員＞

第2790地区鶴沢ガバナーより昨年亡くなられた豊島会員へ感謝状が贈られました。



感謝状は第2790地区13グループの鈴木悦郎ガバナー補佐から代理でオブザーバーで来られたご子息の豊島様へ贈られました。



↑写真中央 オブザーバーで来られた豊島様

＜本日のニコニコ発表 吉田委員長＞

◆中原光男会員

久しぶりの出席です。まだ治療はありますが元気に対処します。ありがとうございます。

◆大塚精一会員

先週は、結婚記念の花束をありがとうございました。また、目の手術は成功しましたので併せてニコニコします。

◆関征啓会員

誕生日のお祝いありがとうございます。42才になりました。最近1年が過ぎるのがまた早くなってきたような気がします。1日1日を大事にしながら生活をしていこうと思います。



松戸北ロータリークラブ会報



「四つのテスト」 言行はこれに照らしてから

- 1・真実かどうか
- 2・みんなに公平か
- 3・好意と友情を深めるか
- 4・みんなのためになるかどうか

例会出席率 64.7%

第2433回例会 2024年4月17日(水)

- 国際ロータリー会長 ゴードンR. マッキナリー
- 第2790地区ガバナー 鶴沢 和広
- 第13Gガバナー補佐 鈴木 悦朗
- 松戸北ロータリークラブ会長 小澤 直之
- 松戸北ロータリークラブ幹事 高橋 一彦
- 例会日 - 毎週水曜日12:30より (第1例会18:30)
- 例会場 - 流山市前ヶ崎717「柏日本閣」
- 事務所 - 松戸市八ヶ崎1-11-13 サンライズハイム101
- TEL/FAX- 047-711-5950 / 047-711-5910
- Web/Mail- www.rc2790-12.jp / kanji@rc2790-12.jp

<第2433回例会プログラム プログラム委員 佐久間音弥>

- 12:30 点鐘 小澤直之会長  
国家及びロータリーソング斉唱  
【♪我等の生業】
- 12:33 お客様紹介 柳 孝実会長エレクト
- 12:35 会食
- 12:55 例会再開  
会長挨拶 小澤直之会長  
幹事報告 高橋一彦幹事
- 13:00 外部卓話 (浅野会員紹介)
- 13:20 【委員会報告】  
出席親睦委員会 森谷充伯委員長  
本日の出席率発表  
  
社会奉仕委員会 大塚精一委員長  
社会奉仕基金発表  
  
ニコニコ委員会 吉田俊一委員長  
本日のニコニコ発表
- 13:30 四つのテスト唱和/点鐘 小澤直之会長



<会長挨拶 小澤直之会長 / 幹事報告 高橋一彦幹事>

まず、活動計画書のP17・18の年間プログラムのロータリーの月間テーマに間違いが確認出来たのでご報告します。正しくは4月が「環境月間」で7月が「母子の健康月間」となります。大変失礼しました。4月は「環境月間」という事で、ガバナー月信の中にロータリーで取り組んでいる環境保護活動を鶴沢ガバナーが4点ほど挙げていました。①地域の美化と自然保護を促進する活動（公園や海岸などの清掃イベントの開催）②持続可能な生活やエコロジーについて理解を深めるような啓蒙活動（環境に関する講演会やワークショップの開催）③持続可能なエネルギー源の開発を支援する活動（太陽光パネルの設置や風力発電プロジェクト支援）④森林の再生や環境改善に向けた植樹プロジェクトの実施 このように各地のクラブが環境問題の改善に向けて活動を始めています。ひとつ③の太陽光パネルの設置支援の部分を取り上げてみますと、数年前より各地で建設が進んでいるメガソーラーですが、つい2日前も仙台で火災事故が発生したり、先月末は鹿児島で大規模な火災事故が発生しています。また建設予定地等での土砂災害もたまに耳にする話です。大きなプロジェクトには色々と犠牲やリスクが伴う事もありますが、まずは国民個人個人が環境に対する意識を強めて、生活の中から改善していくのが最終的には大きな効果になるのではと思います。北クラブでも将来環境に関わる活動もトライしてみたいものです。



<外部卓話 関東ビジネスネットワーク協同組合  
経営支援担当 渡辺直樹様>

当関東ビジネスネットワーク協同組合は、厚生労働省、国土交通省等の国の許可を得て、2007年7月に設立し、広域な国際貢献を目的とした技能実習生の受け入れ事業を行っています。最近では、人手不足対策としての特定技能外国人の受け入れ事業を併せて行っています。現在、ベトナム、モンゴル、インドネシア、ネパール等とのネットワークを持っております。2023年12月現在の実績は、技能実習生700余名、特定技能外国人60余名となっています。技能実習制度は、昨今の深刻な一手不足や転籍不可が人権侵害であるという声から、育成就労制度に切り替わります。主な変更点は、①社会貢献目的から人材確保及び育成することが目的、②日本語能力向上、③転籍不可から転籍可能となる点とされています。人手不足は大きな課題です。日本は、「選ぶ側」から「選ばれる側」へ立ち位置が変わりつつあります。日本人か外国人かではなく、ここに寄り添い、企業が一丸となって人材育成に取り組み、更なる企業成長に結びつけ、後世に素晴らしい日本を残せるよう、積極的なチャレンジをすることが大切であると認識しています。様々な課題が山積みですが人材育成の糧になれる様、皆様のお役に立ちたいと願っております。



(写真上↑関東ビジネスネットワーク協議会理事長でもある浅野久会員から挨拶)

(写真右→卓話終了後会長より贈り物)

